

科 目 名	相談援助演習Ⅲ					開 講 キャンパス	神 埼	
担 当 者	大川 絹代・大西 良・土井 幸治・久保 英樹							
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい	相談援助では、援助対象者の特性を理解し、個別的な関わりができる力が必要であり、面接技術はその中核技術である。本授業では、相談援助における面接技術の活用を考慮に入れながら説明をした上で、演習を通してその基本技術を解説する。また、事例検討や演習を活用し、多様なニーズをもつ人々の特性や適切な関わり方を教授する。							
授 業 の 到 達 目 標	1) 相談援助における面接について理解する。 2) 面接技術の活用方法を知る。 3) 演習を通して、質問・説明の方法を身につける。 4) 演習を通して、傾聴の基礎技術を身につける。 5) 障害の特性に関する知識を持つ。 6) 高齢者や子どもとの関わり方を知る。 7) 福祉サービス利用者の具体的ニーズを考えられるようになる。 8) 事例を通して社会的不利益を被っている人への支援の実際を理解する。							
学 習 方 法	グループ討議やロールプレイを中心とした演習方式で行う。							
テキスト及び参考書等	特に指定しない。必要に応じ資料等を配布する。							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験								
小テスト等								
宿題・授業外レポート	○	◎	◎	○	25			
授業態度	○	○	◎	○	15			
受講者の発表	○	◎	○	◎	10			
授業への参加度		○	◎	○	50			
その他								
合 計						100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)								
第 1 週	オリエンテーション							
第 2 週	面接の基礎技術 (説明の技術)							
第 3 週	対人援助職としてのコミュニケーション (全体)							
第 4 週	面接の基礎技術 (質問の技術)							
第 5 週	面接の基礎技術 (傾聴の技術)							
第 6 週	「社会的排除」に関する相談援助事例 - インターク -							
第 7 週	「虐待」に関する相談援助事例 - アセスメント -							
第 8 週	「低所得者」に関する相談援助事例 - アウトリーチ -							
第 9 週	さまざまな障害について／福祉サービス利用者のニーズについて							
第 10 週	障害を持つ人との関わり方 (全体)							
第 11 週	高齢者・子どもとの関わり方							
第 12 週	社会的問題から福祉ニーズを考える (導入)							
第 13 週	社会的問題から福祉ニーズを考える (調査)							
第 14 週	社会的問題から福祉ニーズを考える (調査・レポート作成)							
第 15 週	社会的問題から福祉ニーズを考える (グループ報告・討議)							
第 16 週								
備 考	【授業外学習】・面接技術や援助対象者についての知識 (他の講義科目で学んだ理論) を復習しておくこと。 グループでのレポート作成や報告では、メンバーと協力して事前の準備に取り組むこと。 【履修上の注意】・本科目の履修は「相談援助演習Ⅰ」および「相談援助演習Ⅱ」の単位を修得した者に限る。 ・授業回数の1/3を超える欠席がある場合は、評価対象としない。							